

2012.4.20

浦山純子 ピアノ・リサイタル 「心の旅への誘い」シリーズ 〈最終章〉

《開催概要》

スタインウェイ・アーティストの浦山純子氏によるリサイタル・シリーズ「心の旅への誘い」の第3回公演を、2012年7月21日(土)浜離宮朝日ホールにて開催いたします。

※関係者各位に先行してお送りいたしましたリリースに記載している浦山氏のCD紹介につきまして、内容の一部を訂正いたしました。

浦山氏は、これまでロンドンを中心にヨーロッパ各地で精力的に演奏活動を行い、2005年に日本に拠点を移したのちも、スタインウェイ・ジャパン(株)による”Young Virtuoso Series”をはじめ日本全国でコンサート活動を展開してきました。このリサイタル・シリーズ「心の旅への誘い」は、松尾芭蕉の「奥の細道」から着想を得て、日本人作曲家・柏木俊夫氏が作曲した、組曲『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』をプログラムの中心に取り上げています。その独創的かつ芸術性の高い企画が音楽界のみならず各方面から注目を集め、2009年7月の第1回公演、2010年6月の第2回公演ともに非常に高い評価を得ました。

今回の第3回公演は、本シリーズの〈最終章〉であるとともに、CDのリリースも記念しています。この『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』は、芭蕉のみちのくの旅路をたどる流麗な組曲で、美しい東北の景色へ思いを馳せるような深い旅情に溢れた作品です。浦山氏は東北出身のピアニストとして、本作品の演奏を自らライブワークに掲げ演奏を重ねてきましたが、作曲家・柏木俊夫氏の生誕100年を迎える今年、かねてからの念願であった全曲版CDのリリースを果たすこととなりました。芸術的・文化的に意義の大きな作品として、すでに各方面から話題を集めています。

本リサイタルではほかにも、浦山氏の代名詞とも言えるショパンやラフマニノフを取り上げ、浦山氏の幅広いレパートリーと表現力を存分にお楽しみいただけるプログラムになっております。会場は、音響に国際的にも高い評価を得る浜離宮朝日ホール。美しい響きが、なつかしい場所や遠い思い出など、あなたを「心の旅」へといざないます。

公演特設ページ <http://www.1002.co.jp/junkourayama/>

名 称	浦山純子ピアノ・リサイタル「心の旅への誘い」シリーズ〈最終章〉
日 時	2012年7月21日(土) 14:00 開演 / 13:30 開場
会 場	浜離宮朝日ホール
協 賛	スタインウェイ・ジャパン株式会社
制 作	株式会社 1002

本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3F

株式会社 1002 公演担当=首藤 真帆[シュトウ マホ]

TEL 03-3264-0244 / FAX 03-3264-1788

MAIL shutou@1002.co.jp

《公演概要》

プログラム

ショパン／バラード 第1番 ㄗ短調 op.23

ノクターン 第5番 嬰へ長調 op.15-2

柏木俊夫／『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』より

「閑さや岩に沁み入る蟬の声」

「五月雨をあつめて早し最上川」

「暑き日を海に入れたり最上川」

「終宵秋風聞くや裏の山」

「散る柳あるじも我も鐘を聞く」

「荒海や佐渡に横たふ天の河」

ラフマニノフ／ヴォカリーズ op.34-14

ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

出演者

【ピアノ】浦山純子 Junko Urayama

4歳よりピアノを始め、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院に留学。

1995年ラジヴィーウ国際ピアノコンクール優勝、及び最優秀ショパン賞(ポーランド)、1998年ボリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)をはじめとする数々の賞を受賞。

1996年よりロンドンを本拠地とし、名門ウィグモアホールにてデビュー。ヨーロッパ各国でソロリサイタル、コンチェルトから室内楽に至るまで幅広く活動し、2002年には、ウラディミール・アシュケナージ指揮フィルハーモニア管弦楽団とグリーグのピアノ協奏曲を共演。同年フィルハーモニア管弦楽団に再び招かれ、チチェスター音楽祭にて演奏。

2005年秋より東京に拠点を移し、銀座・王子ホールにてデビュー。雅楽師・東儀秀樹氏とのジョイントコンサート、ホロヴィッツのピアノによるスタインウェイ・ガラコンサート、お話音楽館など、多彩な企画を含めた演奏活動を展開中。スタインウェイ・ジャパン(株)の“*Young Virtuoso Series*”のアーティストとしても全国各地でコンサートを行うほか、国内外で教育・福祉関係のためのチャリティ活動にも力を入れている。また、2009年よりスタートさせたリサイタル・シリーズ「心の旅への誘い^{いざな}」は、「奥の細道」から着想された『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』を取り上げる独創的な企画として注目を集めている。今年2012年6月には、念願であった本作品の全曲録音CDとして<Voyage ヴォヤージュ>をソニーミュージックダイレクトより発売。CDはこれまでに、2003年<Piano Recital ピアノリサイタル>、2005年<Fantasie ファンタジー>、2007年<Soiree ソワレ>(いずれもイギリス・シンフォニカレコード)をリリースしている。

浅野繁、奥村洋子、故・安川加壽子、アンジェイ・ステファンスキ、スラミタ・アロノフスキ各氏に師事。

スタインウェイ・アーティスト。

浦山純子オフィシャル WEB サイト <http://www.junkourayama.com/>

料金

¥4,000(全席自由)

前 売 開 始

2012年4月21日(土)

プレイガイド

チケットぴあ:0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード:166-519)

東京文化会館チケットサービス:03-5685-0650 (オペレーター対応)

お 問 い 合 せ

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、プログラムが変更される場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。